

職員のインフルエンザワクチン接種率

【指標の説明】

職員へのインフルエンザワクチン接種は、職員の健康を守るため、また患者さんへの感染を防ぐために病院が毎年実施しています。

本指標は予防医療に対する職員の意識の高さを表す指標であり、病院の感染対策への取り組みが表れる指標です。

当院では2016年度から、職員の健康管理や衛生管理の業務に専従する保健師を採用しています。

その成果が、健康診断受診率やインフルエンザワクチン接種率にも表れています。

【定義】

日本病院会「QIプロジェクト」の定義に準じています。

分子 分母のうち、インフルエンザワクチン接種者

分母 在籍職員数(非常勤職員を含む。ボランティア及び委託職員は除く。)

